

報道機関各位

【佐賀県唐津市】「世界海洋プラスチックプランニングセンター」

来場者 1 万人を突破！記念すべき 1 万人目は伊万里市立青嶺中学校の皆さま

～開業以来の節目を迎え、記念セレモニーを実施～

佐賀県が主導し、指定管理方式にて民間運営を行う「世界海洋プラスチックプランニングセンター（所在地：佐賀県唐津市、Web サイト：<https://pla2.jp/>）」は、2026 年 9 月 3 日（木）、来場者数 1 万人を突破いたしましたので、お知らせいたします。

1. 来場者 1 万人を達成

本施設は佐賀県の主導のもと、民間ノウハウを活かす指定管理方式で運営を行っております。2026 年 6 月 7 日の開業以来、県内外からの観光客、環境学習を目的とした学校団体、地域住民の方々など幅広い層にご来場いただき、この度、来場者数 1 万人という節目を迎えることができました。これは、海洋プラスチックごみという地球規模の課題に対し、実際の「現場」である海に面した唐津市で直接学び、体験できる場が、多くの皆さまに支持いただいた結果であると考えております。

2. 記念すべき 1 万人目のご来場者

記念すべき 1 万人目のご来場者となりましたのは、伊万里市立青嶺中学校 1 年生の皆さまです。当日は現地にて記念セレモニーを行い、記念品の贈呈および記念撮影を実施いたしました。



【大嶋センター長からのコメント】

今回の見学を通じて、「こんなにも多くのものがあるのか」と驚いた方も多かったのではないのでしょうか。知識として学ぶことも大切ですが、実際に見て、触れて、感じる体験は、何倍も強く心に残ります。その体験は、新たな気づきやインスピレーションにつながり、これからの生活や未来を考えるきっかけになるはずです。

私自身、科学の研究に携わっていますが、知識と同じくらい大切なのが直感です。さまざまなことを知りながら、自分の心が動いた瞬間や感じたことを大切にしてほしいと思います。

また、プラスチックごみをはじめとする環境問題について考える機会となったことも大き

な意義があります。多くの方々に来場いただいているのは、この問題への関心の高さの表れだと感じています。

今後も、佐賀県内はもちろん、九州、日本、そして世界中から多くの方に訪れていただき、環境問題について考え、行動するきっかけとなる施設を目指していきます。今回の体験が、「自分たちに何ができるのか」を考える第一歩になれば幸いです。

3. 1万人目来場者代表 生徒コメント

記念セレモニーにご参加いただいた伊万里市立青嶺中学校の代表生徒より、以下のコメントをいただきました。

【伊万里市立青嶺中学校 1 年 代表生徒からのコメント】

今日は貴重な体験をさせていただき、また大切なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

学校でも環境学習に取り組んでいますが、今回実際に現場を見学してみて、学校だけの活動ではごみを減らすことに限界があり、社会全体で取り組むことが大切だと実感しました。

また、プラスチックを再利用してキーホルダーを作る体験を通して、ごみを減らす活動につながることを学びました。今日学んだことを家族や友達にも伝え、多くの人にプラスチック問題への関心を持ってもらえたらいいなと思います。

4. 今後の展望

当センターは、開業からの節目を機に、来場者の皆さまからのフィードバックを踏まえた展示・体験プログラムの更新や、企業・研究機関との連携強化にも引き続き取り組んでまいります。今後も次世代を担う子どもたちをはじめ、より多くの方々に海洋環境について学び、考えていただける場を提供してまいります。

■ 施設概要

施設名：世界海洋プラスチックプランニングセンター

オープン日：2026 年 6 月 7 日

所在地：佐賀県唐津市鎮西町 720-1

運営方式：指定管理方式

公式 Web サイト：<https://pla2.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

取材のお申込み、写真素材のご請求等がございましたら、下記までご連絡ください。

一般社団法人海の哲学ラボ 広報担当：張・武内

Email：info@pla2.jp

伊万里市立青嶺中学校の体験の様子

生徒のみなさんには、約3時間をかけて実施した「ビーチクリーン」「展示案内」「アップサイクル体験」を通して、プラスチックや海洋プラスチック問題について学んでいただき、未来の子供たちに美しい海を残すために、今の自分たちに何ができるか、を考えていただきました。

ビーチクリーン体験

波戸岬に漂着した海洋プラスチックを回収しました。

生徒たちは漁具やペットボトル、生活用品など様々な漂着物があること、また日本だけでなく海外性も多いことに驚いていました。



PLA PLA 展示案内

PLA PLA の展示案内を通じて、スタッフからプラスチックのメリット、デメリット、また、海洋プラスチック問題について説明しました。



アップサイクル体験

海洋プラスチックを使った、キーチェーン作りをしました。体験を通して、通常「ごみ」として処分されてしまう、海洋プラスチックが宝物として生まれ変わる可能性を感じていただきました。

